

ほうれんそう



主な掲載内容(令和7年10月定例会)

定例会の概要……………2	決算特別委員会を設置……………11	夏休みおやこ議場見学会……………12
委員会審査……………4	議員研修会……………11	表紙写真……………12
一般質問……………5	議会報告会及び意見交換会……………12	編集後記……………12

ほうれんそう／ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和7年10月定例会

いわき市へき地保育所条例及びいわき市桶売福祉館条例 の廃止 など45議案等を可決・同意

定例会の概要

令和7年10月定例会は、10月23日から11月7日までの16日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、市政運営にあたっての基本的な考え方が示されたほか、条例の廃止案1件、改正案3件、補正予算案13件など、計44件の議案が提出され、主な提出議案について説明が行われました。

また、本会議最終日には、市長から、人事案1件が追加提出されました。さらに、議員から、意見書案6件が提出されました。

これらの議案等について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

条例廃止

◆いわき市へき地保育所条例 及びいわき市桶売福祉館条例 の廃止

へき地保育所であるいわき市立桶売保育所及びいわき市立永井保育所並びに桶売保育所に併設するいわき市桶売福祉館について、利用児童数の減少等によりその用途を廃止するため、条例を廃止するものです。

【主な廃止内容】

1 へき地保育所

山間地等のへき地における保育を要する幼児に対し、必要な保護を行うことを目的とする施設。

2 桶売福祉館

地域住民に対して、生活及び健康その他の相談に応



▲ 永井保育所

▲桶売保育所
(桶売福祉館併設)

ずるとともに、健康の増進、教養の向上及び生活のための便宜を総合的に供与することを目的とする施設。

【施行日】 令和8年4月1日

条例改正

◆いわき市市営住宅管理条例 の改正

市営住宅に係る浄化槽の管理費について、団地自治会の負担軽減を図る観点から、市が徴収することを可能にするため、所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

入居者が負担するものとして規定されている費用のうち、規則で定める費用を徴収可能とする規定を追加する。

【施行日】 令和9年4月1日



財産取得

令和7年度災害時非常用備蓄品整備事業として、避難所の生活環境向上のため、パーティションを購入するものです。



▲パーティション(屋根有り)

人事案

同意された人事案の詳細はこちらから



- ・名称 パーティション
- ・数量 1904基
- ・(屋根有り300基／
屋根無し1604基)
- ・価格 8182万
4160円
- ・目的 非常用備蓄品の配備
- ・取得方法 一般競争入札による
- ・納期 令和7年12月26日
物件供給契約

補正予算の総額57億 9,613万 1千円

学校給食費無償化事業（小学生分） 【補正額】▲1億5,921万6千円（歳入）

子ども・子育て支援の充実・強化に向け、令和7年4月から実施している中学生に加え、令和7年度の3学期から小学生の学校給食費を無償化する。



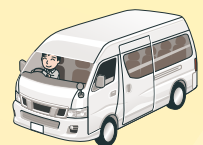
【担当：学校支援課 ☎ 22-7594（直通）】

公共交通活性化推進事業 【補正額】1,149万4千円

国庫補助金の交付決定に伴い、日常生活における移動手段の充実や、既存公共交通との接続性の向上により、まちなかにおける公共交通の利便性向上を図るため、新たな交通手段の導入を目指した実証事業を行う。



区 分	小名浜地区	常磐地区
運 行 形 態	路線定期運行 決められた路線と運行時刻で運行する形態	デマンド型 区域運行 利用者の予約状況に応じて運行ルートや運行スケジュールを設定し運行する形態
主な運行エリア	小名浜、小名浜岡小名、小名浜大原、湘南台	常磐湯本町、常磐上湯長谷町、桜ヶ丘、常磐下湯長谷町、常磐白鳥町、常磐西郷町、常磐関船町、常磐下船尾町、常磐水野谷町
実証運行期間	令和7年12月～令和8年2月（予定）	
使用する車両	乗車定員9名～10名（運転手含む）の車両	

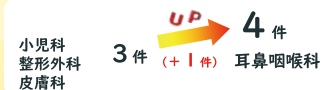


※これまで中山間地域等で実施してきた個人利用の「定額タクシー」とは異なり、1台の車両に不特定の利用者が同乗する「乗合い方式」で実施

【担当：公共交通課 ☎ 22-1120（直通）】

診療所開設・承継支援事業 【補正額】2,000万円

医療提供体制を確保するため、市内に診療所を新規開設・承継する医師等に対して交付する補助金について、申請者の増加に伴い、事業費を増額する。



【担当：医療対策課 ☎ 27-8572（直通）】

工場等立地奨励金 【補正額】2,301万円

新たに設備を増設した事業者に、設備投資額に応じた奨励金を交付する。

1 社 電子部品製造業

【担当：産業みらい課 ☎ 22-1162（直通）】

意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めるため、国会または関係行政庁に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の6件を可決しました。

- 災害対応力の強化を求める意見書
- 医療機関の経営安定に向けた支援を求める意見書
- 米の安定供給と食料安全保障の確立を求める意見書
- 農業者の営農意欲を維持した持続可能な農業の確立を求める意見書
- 国民健康保険における子どもの均等割免除を求める意見書
- 地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書



詳細はこちらから▲

委員会 審査

本会議5日目の10月30日に、計44議案の付託を受けた4常任委員会は、10月31日に委員会を開催し、議案の審査を行いました。

その結果、議案については、いずれも原案のとおり可決すべきものとの結論に達しました。審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。 Check!

政策 総務

常任委員会

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第3号）

Q 移住されてきた方が、本市を移住先を選んだ理由等から本市の強みなどを把握することについては。

A 移住されてきた方からの相談履歴は残しており、事情は把握しているため、それを分析して本市の強みを捉えられるよう、今後、取り組んでいきます。

◆ 財産取得（非常用備蓄品（資機材））

Q 断熱効果など冬場を想定したより効率的なパーテーションの整備は。

A 現在、整備の最中であり、今後導入するパーテーションもあるため、防災訓練や防災講座などで検証していきます。

市民 生活

常任委員会

◆ 令和7年度いわき市後期高齢者 医療特別会計補正予算（第1号）

Q 後期高齢者医療システム改修の委託先などは。

A 委託先は、現在のシステムを開発したベンダーであり、委託料の主な内訳としては、システム改修に当たるシステムエンジニアの人件費となっています。

また、後期高齢者医療保険料は、市が徴収し、県に納付する仕組みとなっており、当該システムは、広域連合から情報を受け取るシステムと、納付書等を発行するシステムの2つで構成されています。



教育 福祉

常任委員会

◆ 議案第1号いわき市へき地保育所条例 及びいわき市桶売福祉館条例の廃止

Q 条例廃止後における施設の利活用は。

A 桶売保育所及び併設する桶売福祉館については、耐震基準を満たしていないため、利活用は想定していません。また、永井保育所については、民間より借用しているため、速やかに返還する予定です。

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第3号）

Q 小学校給食費の無償化に伴い、従前の未納分はどうか。

A 従前の未納分は、受益者負担の公平性の観点から、納付していただく考えです。

産業 建設

常任委員会

◆ 議案第4号いわき市市営住宅 管理条例の改正

Q 改正後において、浄化槽管理会社との契約の主体は、団地自治会と市のどちらとなるのか。

A 団地自治会からの意向により、管理費の徴収を市に委託された場合、市と管理会社が契約を締結することとなります。

◆ 令和7年度いわき市一般会計 補正予算（第3号）

Q 公共交通活性化推進事業費に関わって、実証運行後の実装に向けての条件は。

A 主要な利用者の利用頻度や満足度などを実証事業の評価指標として検証し、今後の実装に向けて検討を進めます。

22名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが
知りたい

一般質問



一般質問は、10月27日から30日までの4日間にわたって行われ、22名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。



2期目の市政運営の基本的な考えは

問 様々な課題解決に向けた市長の思いは。

答 2期目の市政を「いわき再起動の第2幕」と位置付け、市制施行100年目のいわきを見据え、輝き続ける持続可能なまちづくりを進めます。1期目は、全ての行政のベ

市政運営の原点は、市民の声に真摯に耳を傾け、共に考え、共に行動することにあります。引き続き、謙虚で誠実な姿勢をもって市民の皆様と課題の解決に挑み、希望と誇りに満ちたいわきの未来を切り開いていきます。



いわきの将来像、未来ビジョンの策定の取組は

問 策定に当たって進め方は。

答 「いわき31万人のまちづくりビジョン策定プロジェクト」を立ち上げ、プロジェクトメンバーによる地域リサーチや、誰もが参画できるオープンな場での議論を重ねていく予定です。活動を通じて、これからのいわきを支える皆様の声を受け止め、令和8年10月1日を目指し、100年目のいわきを見据えた未来ビジョンの策定に取り組みます。

「いわき31万人のまちづくりビジョン」

若者を中心とするメンバーが1年をかけ、地域に出かけ、様々な人たちに出会いな

がら、いわき市民31万人の声を集め、いわきの未来(まちづくりビジョン)を考えていくプロジェクトです。

自治会支援の取組は

問 自治会活性化応援モデル事業とは。

答 地域住民が地域の課題やその解決策を考え実施する、公共性・公益性の高い自治会の活動に対し、補助率を10分の9以内、補助限度額を1自治会あたり50万円とし、経費の一部を補助するものです。

補助対象は「安全・安心な地域づくりを図るための事業」、「地域の伝統・文化、郷土芸能の振興を通して地域づくりを図るための事業」、「地域の生活環境の改善を図るための事業」等となっています。

問 地域集会所の修繕の補助対象にエアコンの設置経費を加えては。

答 市としては、地域集会所を、地域住民の活動の拠点と

して重要な施設と認識していることから、地域集会所のエアコンの設置状況や、夏季の集会所の活用状況調査等を踏まえ、補助対象の拡充について検討します。



公共事業の50億円予算増額で、市民要望に対し対応を

問 要望の多い道路や河川などに対応すべきでは。

答 市民のご要望を踏まえ、市民サービスの質を落とすことなく、道路など公共施設の維持管理の強化に努めます。

いのちを守る、災害に強いまちづくりを

問 カムチャツカ半島沖地震、津波の教訓と今後の対応は。

答 防災行政無線は、放送間隔や音量等の運用に柔軟に対応します。渋滞への対応は、津波の際、徒歩避難の原則を周知・啓発します。避難所の暑さ対策は、空調設備の整備など熱中症対策に配慮した備蓄品の拡充を検討します。

信頼される行政と 職員倫理に関する条例を

問 いつ条例を制定するのか。

答 職員の倫理的な基準やルールの明文化は、市民と市の相互理解や信頼関係を深める観点からも、早期に取り組むべきと認識し、今年度内の明文化を目標に取り組みます。

小中学校体育館の 空調設備の整備を

問 避難所指定校の空調設備は。

答 来年度からの事業着手に向け、検討を進めています。



政風会
田頭 弘毅

本市の健康づくりの 取組は

問 「スポーツの力」健康的な人・まちづくり推進事業の概要は。

答 市民の生活習慣病の予防・改善等につなげることを目的に、いわきFCと連携し、運動習慣プログラムの提供や、ホームゲームにおける健康啓発、健康情報の発信について一体的に実施するものです。

本市の観光・スポーツ の取組は

問 インバウンド誘客事業の概要は。

答 市内観光関連事業者等と台湾での商談会への参加や旅行会社への訪問営業を実施し、また、市内事業者を対象にインバウンド誘客に向けた意識醸成や販売促進のセミナーを開催しています。さらに、今年度は旅行商品造成に向け、現地旅行会社を招聘したツアーを予定しています。

問 スポーツ合宿の誘致は。

答 スポーツコミッションにおいてスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大と合宿地としての認知度向上に努めるほか、これまで培ったノウハウや人脈を生かし、団体のニーズに応じた新規開拓にも取り組んでいるところです。

問 いわき甲子園プロジェクトを設立した経緯は。



本市の財政状況は



真政会
鈴木 演

問 市長が特に注力する事業の予算確保は。

答 1期目の市長就任以降、デジタル化による業務効率化や公共施設の統廃合を進め、これらの取組が進捗したことにより、一定の財源を生み出すことができました。様々な取組等により生み出された財源を活用し、2期目の公約実現に全力で取り組みます。

公共事業の予算増額は

問 公共事業費増額の背景は。

答 持続可能なまちづくりを進めるには、市民の安全・安心を守ることが重要です。また、地域経済を守ることに

答 スポーツ、とりわけ野球で活躍した子どもたちが、高校進学時に市外へ流出する現状があることから、野球を通じて郷土愛を育み、ふるさと帰りの意識を醸成することを目的に令和7年7月に設立しました。

問 地域経済、地元企業への配慮は。

答 公共事業は裾野が広く、様々な産業に波及効果が及び、地域経済の活性化に繋がることとが期待されます。発注にあたり、公平性・透明性・競争性を担保しつつ、市内事業者の受注機会の確保にも配慮しながら取り組みます。



公明党
塩田美枝子

国際都市・いわき市を めざして

問 国連ユニタールCIFALジャパン国際センターの今年度下半期の主な活動は。

答 小中学生を対象に主に首都圏や大都市圏で開催されている「国連を支える世界こども未来会議」や、高校生向けの「模擬国連の研修会」等、市内で開催する計画です。

問 国際姉妹都市力ウアイ郡の子どもたちとオンライン交

流等を積極的に推進しては。

答 海外との交流は、子どもたちの国際理解、コミュニケーション能力の育成、英語学習の意欲向上に有効な機会であり、他自治体の成功事例も参考としながら、効果的な手法を研究していきます。

問 英検の受験料の助成は。

答 他の成功事例を参考に、可否を検討していきます。

誰もが住みやすい 共生社会をめざして

問 手話言語条例の制定に向けた機運醸成の取組は。

答 手話と音声をリアルタイムで相互テキスト化することで、円滑なコミュニケーションが可能となる、AI手話トークの活用に向けた実証実験などを行う予定です。

問 本市での条例制定は。

答 要望団体からの意見を踏まえながら、制定に向けた検討を進める考えです。

避難所となる学校体育館 のエアコン設置について

問 整備に関する検討内容は。

答 来年度からの事業着手に向け、検討を進めています。



小中学校の給食無償化に 関わる問題は

問 物価高騰においても、給食の質や量を落とさないようにすべきでは。

答 学校給食無償化の実施後においても、これまでどおりの質及び量を確保した安全でおいしい給食を提供します。

公共交通の強化に 関わる問題は

問 中山間地域に隣接する地区や市街地で「公共交通空白地域ゼロ」の取組が残されている地域の今後の計画は。

答 これまで得られた知見も活用しながら、取組を推進・拡大し、公共交通の空白地域や移動が不便な地域の解消を目指します。

高齢者宅などへのエアコン 設置への支援は

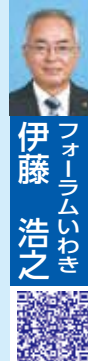
問 対象となる市民でエアコンの設置要望がある世帯には、全て応えるようにすべきでは。

答 市民ニーズを的確に捉え、対応していく考えです。

いわきFC新スタジアム 建設の問題は

問 新スタジアム建設は、住民や企業などの納得と合意を得て進めるべきでは。

答 地域や関係者のご意見を伺いながら検討を進めます。



市長選の公約は

問 公共事業の50億円増額に係る財源確保は。

答 構造改革等で生み出した財源や交付税措置の有利な地方債、公共施設整備基金などを組み合わせていく考えです。

問 学力日本一のため、少人数学級の推進や教職員の増員等を国に働きかけては。

答 教職員が児童生徒に向き合う時間の確保や学びの質的向上につながるため、必要性を感じており、国・県へ要望しています。今後も、県教育委員会と連携した教員の人材確保や外部スタッフの配置等を進めていく考えです。

いわきFC新スタジアムの 災害時の安全確保は

問 防災の厳しい考え方を設置者に求めている。

答 整備主体のいわきスポーツクラブも委員として参画している協議会において、新スタジアムの計画にも反映できるように検討を進めます。



本市において熊等鳥獣対策の 専門家を育成すべき

問 ガバメントハンターチーム創設のため、職員に狩猟免許取得の補助等を検討しては。

答 有害鳥獣の狩猟者確保のため、市狩猟者支援補助金交付制度で支援を行っており、熊対策の体制構築は猟友会の協力で体制を構築しました。市職員への対応は必要に応じて検討します。



▲川前地区で目撃された熊

機能別消防団員に避難所運営 への協力を求めるべき

問 看護学生の知識を生かし、身体・精神的ケア等の活動をしていただく事を検討すべき。

答 避難所において、看護学生が保健師等の指示のもと活動することは有効と認識しており、今後、研修や訓練を通して検証するとともに、団員の意見を参考にしながら活動体制を整理します。

その他の質問

○朝のこどもの居場所づくりに係るニーズ調査を
○市の手続き等の効率化を



公共交通の利用促進・地域の 実情に合わせた交通施策は

問 鉄道活性化に向けた今後のJR東日本への要望内容は。

答 これまで、サイクルトレインの運行や磐越東線の存続を要望してきました。さらに、今年度は、現在建設が進む羽田空港アクセス線の県内常磐線の乗り入れについても、新たに要望していきます。

問 取組が進む地域以外の交

通不便地域における移動手段の確保に向けた取組は。

答 泉、勿来の市街地部や江名、川部地区等で、移動実態の把握や課題抽出を進めています。今後、望ましい移動サービスを検討し、実証運行形態の構築等を進め、公共交通空白地域の解消を目指します。



▲サイクルトレインの様子

仕事と子育ての両立支援の さらなる充実を

問 病児・病後児保育について、預かり時間の延長や小学生までの対象拡大が必要では。

答 預かり時間の延長等は、保護者に余裕が生まれ、子供の居場所の確保にもつながりますが、職員の確保等、一定の課題があることから、医療機関にヒアリングするなど、拡充に向けて検討します。

投票環境の

さらなる充実を

問 目に障がいのある方に対する選挙公報を作成すべき。

答 国・県の選挙では、県ホームページに音声読上げ用データを掲載しています。今後は、県と同様、市ホームページの音声読上げ用データの掲載など、対応を検討します。

真政会
小菅 悟

悟



本市の教育環境は

問 今後の小中学校体育館への空調設備の整備方針は。

答 夏の暑さが年々増しており、熱中症対策や避難所における避難者の体調管理の観点から、学校体育館の空調設備を早急に整備していく必要があります。施設の老朽化度合い、避難所指定の状況や断熱対策の実施方法など、整備に向けた様々な課題を見極めながら、令和8年度から事業を着手できるよう検討を進めています。

問 今後の児童生徒数の推計は。

答 令和13年度には、児童数が約1万6000人、生徒数が約6700人となる見込みです。令和7年5月1日時点の市立小中学校の児童生徒数と比較すると、児童数は約4200人、率にして約29%の減、生徒数は約700人、率にして約10%の減となります。

問 今後の学校統廃合の進め方は。

答 より良い教育環境をどう作っていくかという視点に立ち、大局的なまちづくりの視点も入れながら、学校統廃合を考えていく必要があります。学校再編については、これまで児童生徒数の将来推計を踏まえ、複式学級を編成、または編成の見込みがある学校を対象とし、保護者や地域の皆様の意見を伺いながら進めてきました。今後も子供たちがより良い未来を切り開いていけるよう、教育環境づくりに取り組みます。

市民の会
遠藤 崇弘

令和7年7月のカムチャッカ半島付近地震での本市の避難所対応は

問 避難所となる学校体育館



▲いわき駅前広場の様子

へのエアコン設置の取組は。

答 早急に整備する必要がある、来年度からの事業着手へ向けて検討を進めています。

中心市街地活性化へ向けた
諸課題への取組は

問 いわき七夕まつりの継続開催へ向けた本市の対応は。

答 資金面での支援の継続や実行委員会と連携したイベントのPRなど、必要な支援に努めていきます。

問 いわき駅前広場の夜間の長時間駐車への今後の取組は。

答 駐車車両を特定し、個別に指導するなど、駅前広場の適正な利用を図っていきます。

誠心誠意の会
大友 康夫市民運動場の運営と
適正管理は

問 市民運動場の運営・管理の状況は。

答 市内にある12施設のうち、平、勿来、常磐、内郷の4つの市民運動場は、指定管理者制度を導入しています。その他の8施設は修繕等、維持管理を市が直接行っています。

問 市民運動場への指定管理者制度の導入は。

答 指定管理者制度を導入していない市民運動場のうち、利用率の高い施設については、導入済みの施設における指定管理期間の更新時期と合わせて導入が可能か検討します。当面の間は市が現状を確認し、必要に応じ委託や修繕により、適正な維持管理に努めます。

部活動の地域展開に向けた
取組は

問 現在の取組状況は。

答 部活動地域展開推進検討委員会を組織し、関係者間で検討を行うとともに、モデル事業の実施や意識調査等を行っています。

問 モデル事業を実施しての課題は。

答 本市の広域性に起因する活動場所の確保や送迎時の保護者の負担感、また指導者の確保等も課題となっています。



▲モデル事業の様子

創世会
狩野 光昭

本市の人口10万人当たりの
医師数は62中核市中58位

問 医師確保の取組は。

答 医学生応援修学資金貸与事業や診療所開設・承継支援補助事業の充実を図り、医師確保に向け取組を進めます。

〔医学生心援修学資金〕

貸与事業

市内の病院に勤務する医師の確保を図ることを目的に、将来、市内の病院への勤務を希望する医学部の学生に対し、修学に必要な資金（月額23万5000円、最長6年間）を貸与しています。

〔診療所開設・承継支援〕

補助事業

市内において診療所を新規開設・承継するものに対して、費用の一部を補助しています。

○補助率 3分の2以内
○上限額 2000万円
(分娩施設を有する産婦人科もしくは産科又は小児科は3000万円)



犬猫の殺処分ゼロに向けた取組は

問 自治会や行政区の猫管理活動の理解促進の取組は。

答 地域が主体となって所有者のいない猫の餌やりや不妊去勢手術等を一体的に行う猫管理活動を推進しています。

中小企業への

支援の強化を

問 中小企業の賃上げを促進する支援金事業の創設を。

答 他県の実情や取組等を調査研究していきます。

**市外の方でも請求できる
市情報公開制度の見直しは**

問 見直しの実施時期は。

答 令和8年4月からの施行を目標に検討を進めます。



HPV関連がんの撲滅に向けて

問 HPVワクチンの女子定期接種について、対象となる小学6年生から高校1年生相当の未接種者へ、毎年複数回接種勧奨通知を行っている。

答 本市において、ワクチン未接種者への勧奨は、年度初めに全学年を対象に個別通知を実施し、加えて令和6年度には、高校1年生相当の、今年度は、中学1年生の未接種者に対し、同一年度内の再勧奨を開始しました。今後も、効果的な時期に個別通知を

実施し、接種勧奨に継続的に取り組んでいきます。

問 本市独自で、男性へのHPVワクチン接種に助成を。

答 国において、ワクチンの有効性、安全性、費用対効果など、定期接種化に向けての審議が進められているため、市としては、引き続き国の動向を注視していきます。

〔HPV〕

HPV(ヒトパピローマウイルス)は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっています。特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えてい



■その他の質問
○キンダーカウンセラーの取組は



本市における保育の問題は

問 障がい児保育研修の参加しやすい状況作りは。

答 オンラインでの研修を一部導入しており、今後も、研修回数増加の検討や録画研修の提供など、時間や場所の制約を受けず、繰り返し受講できる環境整備に取り組んでいく必要があると認識しています。

本市における学校教育等の問題は

問 本市南部にも特別支援学校が必要という声に対しては。

答 県教育委員会と適時情報交換をしており、設置に向けて考えています。

公共施設トイレへの生理用品設置等は

問 市役所本庁舎のトイレへの生理用品の設置状況は。

答 令和7年6月下旬より、試行的に1階女子トイレや多目的トイレの合計7箇所に独自に設置しました。



本市で発生したいじめ問題は

問 今回の事態における問題点は。

答 結果的に重大事態としての手続きに2年あまりかかったということを重く受け止めています。特に、いじめ対処にかかる手続の迅速性や組織的な対応に課題があったと考えています。

問 問題点の改善方法は。

答 部局横断的な専門チームを設置することで、児童生徒への支援を最優先にし、組織的かつ迅速に対応していく考えです。さらに、いじめ問題対策委員会の調査を踏まえ、至らなかつた点や見直すべき点について真摯に反省し、改善を図っていきます。

指定障害児通所支援事業者に
対する行政処分は

問 本事業の捜査機関等への相談に関する所見は。

答 今後の状況等を勘案し、捜査機関への相談も検討していきます。



性犯罪等の被害防止を

問 小中学生の児童生徒への被害防止に向けた啓発は。

答 性被害の知識等、発達段階に応じた系統的な指導、情報モラル教育の推進や外部専門家の活用を強化しています。

問 女性が被害を相談しやすい環境作りの取組は。

答 女性相談支援員が電話等で相談を受け支援をするともに、様々な相談窓口を市ホームページへ掲載しています。

ヤングケアラーに支援を

問 周知啓発の取組は。

答 市ホームページへの掲載や出前講座等を実施し、認知度の向上に努めています。また、児童・生徒には、リーフレットを配布し、自覚を促し相談につなげています。

問 早期発見の取組は。

答 小学校5・6年生に実態調査を実施し、疑われる場合聞き取りを行い、支援等につなげていきます。



農薬危害防止運動の取組は

問 昨年の課題の反映は。

答 販売店の周知依頼先の拡大、農薬使用抑制の呼びかけ、相談窓口の追加をしました。

問 市道散布への周知は。

答 注意事項等の遵守が重要であり、情報提供に努めます。

災害時の乳幼児の避難は

問 使い捨ての缶ミルクやアタッチメント等の備蓄状況は。

答 総合保健福祉センター、常磐支所に計600セットを備蓄しています。

問 各支所等、各地に分散して備蓄すべきでは。

答 調査の上、分散備蓄について検討します。



避難所の暑さ対策に向けた取組は

問 学校体育館のエアコン設置の計画は。

答 施設の老朽度合いや避難

所指定の状況、断熱対策の実施方法など、整備に向けた様々な課題を見極めながら、令和8年度からの事業着手に向け、検討を進めています。

問 エアコンが無い避難所にスポットクーラー等の調達をすべきでは。

答 熱中症防止等、暑さ対策は必要であると認識しています。学校体育館や体育施設等における暑さ対策の考え方と整合性を図りながら、スポットクーラー等の設置について、検討を進めていきます。



事業所税の今後の見通しは

問 本市が事業所税の課税団体の要件から外れるのは何年度と想定されるか。

答 現行の推計では、国勢調査で人口30万人を下回る結果が官報で公示される令和13年度中に要件から外れることが想定されます。

問 財政的な影響は。

答 年間で約24億円の事業所税が減収となるが、普通交付税の算定により、本市歳入へ

の実質的な影響は、年間で約6億円の減収が見込まれます。一方、課税対象の事業者は、税負担が軽減されるため、経営改善等につながるとともに、企業誘致に一定の効果をもたらすことが期待されます。



市道窪根・君田線の道路改良事業は

問 今後の事業の進め方は。

答 現在は、道路改良に必要な用地補償調査を実施しており、来年度からは、用地の取得を進める予定です。早期の工事着手に向け、地権者のご理解が必要となるため、今後、丁寧な説明に努めながら、円滑な事業推進に取り組みます。

道路維持費の増減は

問 令和6年度と令和7年度の道路維持費の予算は。

答 令和6年度は7億3009万2000円、令和7年度は7億3058万8000円となっており、ほぼ同水準で推移しています。



▲10月臨時会の様子

10月臨時会を開催

10月3日に臨時会を開催し、市長から、副市長の選任の同意を求める議案、監査委員の選任の同意を求める議案が提出され、同意しました。

10月臨時会において同意した人事案は次のとおりです。

○副市長

山田 誠氏 新

○監査委員

遠藤 英子氏 新

決算特別委員会を設置

令和6年度一般会計及び特別会計・企業会計決算の認定に関しては、決算特別委員会を設置の上、専門的な立場から審査を行うこととしました。

設置された2つの決算特別委員会の構成は、次のとおりです。(◎：委員長 ○：副委員長)

一般会計

◎長谷川貴士 ○小菅 悟 佐藤不二夫 吉田 雅人
菅野 宗長 田頭 弘毅 木田都城子 塩沢 昭広
鈴木さおり 佐藤 和良



▲一般会計決算特別委員会審査の様子

特別会計・企業会計

◎川崎 憲正 ○塩田美枝子 草野 大輔 根本 重和
小野 光貴 塩 恭子 馬 上 卓也 狩野 光昭
蛭田 源治 福嶋あずさ



▲特別会計・企業会計決算特別委員会審査の様子

議員定数のあり方検討に係る議員研修会

いわき市議会では、議員定数のあり方及び議員の長期欠席の取扱いに関する検討特別委員会を設置し、議員定数のあり方等について検討しています。

令和7年8月25日、議員定数のあり方を検討するに当たり、議論の深化を図るため、兵庫県西脇市議会議員の林晴信氏を講師として、研修会を実施しました。



講師

兵庫県西脇市議会議員
林 晴信 氏



▲議員研修会の様子



ほうれんそう 第210号の訂正

前号の市議会だより「ほうれんそう」第210号（令和7年8月15日発行）の記事におきまして、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【訂正箇所】

本紙2ページ「人事案に同意」中、人権擁護委員の氏名のふりがな

(誤) 折 笠 ひめ子氏
(正) 折 笠 ひめ子氏

次期定例会について

議会報の結びには、次の定例会の日程を掲載していますが、今年度は12月定例会が12月4日から18日までの日程で行われたため、今号発行のスケジュール上、12月定例会の日程をお知らせすることができませんでした。

12月定例会の次の定例会の日程については、市議会のホームページにアクセスしていただくか、議会事務局までお問い合わせください。

議会報告会 意見交換会

政策総務

Well-Beingなまちづくりの実現に向けて

常任委員会



日 時：5月18日（日）午前10時30分～正午

場 所：いわき市役所議会議棟

相手方：いわき転入女性の会 3名

いわきおかあちゃんの会～はぴまる～ 1名

IWAKI 移住サポーター 4名

市民の皆さんと
議員の対話！

R7

議会報告会・意見交換会は、
開かれた議会の実現に資する
よう開催しています。

市民生活

海洋ごみ問題・ごみのリサイクル
～ごみの減量やリサイクルの推進など課題を解決～

常任委員会



日 時：7月4日（金）午後1時15分～2時45分

場 所：福島県立小名浜海星高等学校

相手方：福島県立小名浜海星高等学校

海洋工学科3年生 8名

専攻科機関科1年生 2名



教育福祉

部活動の地域展開

常任委員会



日 時：7月8日（火）午後3時～4時30分

場 所：いわき市役所議会議棟

相手方：中学校教員 6名、保護者 6名、指導者 6名



産業建設

「いわきで就職」を選択してもらう
ための効果的な方策とは

常任委員会



日 時：7月16日（水）午後3時～4時30分

場 所：国立福島工業高等専門学校

相手方：国立福島工業高等専門学校生 12名



夏休みおやこ議場見学会



▲議会議棟見学の様子

7月27日（日）、小学4年生から6年生までの児童の皆さんとその保護者30組62名を迎え、市議会の仕組みについて、動画視聴で学習後、議員と一緒に議会議棟見学やクイズ探検などを行いました。

最後は、議員へ質問を行い、議員との交流を深めました。



▲議場で集合写真



▲議員への質問の様子

表紙写真

近年、多くの自治体で下水道のマンホール蓋に自治体独自のデザインを取り入れています。旅行者の観光目的とともに下水道への理解や関心を持ってもらうために、デザインマンホールの導入を進めています。

寒い冬の到来です。寒い季節は免疫力が下がり、病気になるやすい時期でもあります。体を温めて免疫力を高めるには温泉に浸かるのが一番です。
いわきには1300年以上の歴史を持つ名湯があります。温泉入浴を楽しみながら、寒い冬を元気に乗り越えていきましよう。
(議会編集委員)